

東急アクセラレートプログラム2018 Demo Day を開催 ～最優秀賞は株式会社アスラボが受賞～

ーオープンイノベーションを加速する「SOIL (Shibuya Open Innovation Lab)」を今夏渋谷に開設ー

東京急行電鉄株式会社

当社は、3月20日(水)にセルリアンタワー東急ホテルにおいて、スタートアップのビジネス展開を支援する「東急アクセラレートプログラム2018」(以下、当プログラム)のDemo Day(以下、デモデー)を開催しました。投資家などに向けて事業プランを発表するデモデーでは、「最優秀賞」「優秀賞」「審査員賞」「オーディエンス賞」を決定し、最優秀賞には、株式会社アスラボを選定しましたので、お知らせします。

株式会社アスラボは、場とITで料理人の起業・経営を支援し、日本の食をもっと豊かにし、その魅力を世界中の届けることがミッションです。料理人の起業・経営を行う場として飲食施設「アスラボ横丁」を全国5か所で展開しており、今後は出店を加速し、全国で展開予定です。「アスラボ横丁」では、料理人の起業を支援するITツール「ITASAN」により、料理人のエントリーを募ります。出店後は、横丁に入る店同士でスタッフの共同雇用、厨房以外の施設共有などを通し、低コストな経営を実現しています。そのほか、経営を支援するITツール「OKAMISAN」を提供し、経理処理、売上分析など様々な業務をワンストップで支援しています。

事業共創を行う株式会社東急百貨店とは、2019年5月9日(木)から6月5日(水)まで、「渋谷ヒカリエ ShinQs」の地下3階 フードフロアにおいて、「アスラボ横丁」の料理人達が、地方のまだ見ぬ魅力的な食材を調理し、惣菜、弁当として提供を行う「地方横丁料理人が集結！ 東京初上陸 美味しいものフェア 四国・九州 希少食材編(名称仮)」を開催する予定です。

デモデーでは、審査員による協議の結果、地域に密着し、沿線のお客さまのライフスタイルをサポートできるという観点だけでなく、東急百貨店以外の東急グループ各社との親和性も高いという点から、取り組み意義が大きいと判断し、最優秀賞に選定しました。そのほかの6社とも、東急グループの事業資産を活用したテストマーケティングを実施し、その結果によって今後業務提携などを検討します。

2018年度で第4期目となる東急アクセラレートプログラムは、対象事業領域を15に拡大し(ホテル・ホテル、物流・倉庫、建設、カード・ポイント・ペイメント、教育・カルチャーを追加)、公募を年1回から毎月に変更することで、取り組みの質・量・スピードをレベルアップさせました。5月の応募開始以降、3月19日時点で153件の応募があり、東急グループ16社と事業共創の検討を随時行っています。

また、2019年7月には、渋谷を中心としたグローバルイノベーション拠点の形成と、国内産業界のイノベーション加速を目的に、渋谷駅徒歩1分の立地に、スタートアップ企業の新しいサービスや商品の社会実装にフォーカスしたオープンイノベーション施設「SOIL (Shibuya Open Innovation Lab・通称:ソイル)」を新設します。

当プログラムは、2019年度から事業共創を行う東急グループの新たな企業として、東急不動産ホールディングス株式会社が加わり、一層幅の広い事業領域と顧客接点の選択肢を備えたプログラムへと進化します。当社は今後も、スタートアップ企業との事業共創によって多様化するニーズに迅速に対応し、イノベティブなまちづくりを行っていきます。

デモデーの各賞受賞企業、各企業との事業共創内容、SOILの概要は別紙のとおりです。

以 上



▲「東急アクセラレートプログラム2018」Demo Day授賞式の様子

【別紙】

「東急アクセラレートプログラム2018」 Demo Day開催概要及び受賞企業

■開催概要

- ・日 程:2019年3月 20 日(水)14時30分～17時30分
- ・場 所:セルリアンタワー東急ホテル 地下2階 ポールルーム
(住所/東京都渋谷区桜丘町26番1号)

■受賞企業

- ・最 優 秀 賞:株式会社アスラボ
- ・優 秀 賞:Yper 株式会社
- ・審査員特別賞:ClipLine 株式会社・株式会社ブルームスキーム
- ・オーディエンス賞:株式会社超十代

■審査員

(外部審査員)

- ・グローバルIoTテクノロジーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長 安達 俊久 氏
- ・デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社 事業統括本部長 斎藤 祐馬 氏

(当社審査員)

- ・東京急行電鉄株式会社 取締役社長 高橋 和夫 (審査員長)
- ・東京急行電鉄株式会社 取締役 事業開発室長 市来 利之
- ・東京急行電鉄株式会社 取締役 経営企画室長 藤原 裕久

■Demo Day登壇企業との事業共創内容

1. 株式会社アスラボ

- ・所在地:東京都港区南青山一丁目15番3号ペガサスビル2階
- ・代表者名:片岡 義隆
- ・設立年月:2010年4月
- ・サービス名:出店ツール「ITASAN」、経営管理ツール「OKAMISAN」
- ・会社 URL:<https://asulabo.jp/>
- ・共創企業:株式会社東急百貨店

○事業共創内容

アスラボは、起業を目指す料理人を対象とした「横丁」を展開しています。スタッフの共同雇用、共同仕入れなどを通し、効率的かつ低コストオペレーションを実現。全国5か所で横丁を展開しています。IT ツールを活用して、これまでも料理人の起業・成功を支援してきました。本取り組みでは、東急百貨店の新規販路開拓の一環として、同社が運営する「渋谷ヒカリエ ShinQs」の地下3階 フードフロアにおいて、“アスラボ横丁”の料理人達が、地方のまだ見ぬ魅力的な食材を調理し、惣菜、弁当として提供を行う「地方横丁料理人が集結！ 東京初上陸 美味しいものフェア 四国・九州 希少食材編(名称仮)」を開催予定です。第一弾は2019年5月9日(木)から6月5日(水)で実施し、その結果により今後の展開も検討していきます。アスラボと東急百貨店のタッグにより、料理人や地方食材の魅力をお客様に発信していくことで、日本の食の豊かさに触れられる場づくりを進めてまいります。また、将来的には、東急グループとの連携による東急線沿線でのアスラボ横丁の展開なども視野に入れて、料理人が起業しやすい世の中の実現を目指します。

2. Yper 株式会社

- ・所在地:東京都渋谷区東京都渋谷区南平台町13-15
- ・代表者名:内山智晴
- ・設立年月:2017年8月
- ・サービス名:OKKIPA
- ・会社 URL:<https://www.yper.co.jp/>
- ・共創企業:Connected Design 株式会社

○事業共創内容

置き配バッグとスマートフォンアプリを使った物流システム「OKIPPA」を展開するYperは、宅配物の再配達率削減を解決課題として事業を展開してきました。OKIPPA バッグを玄関前に吊り下げるだけで、不在でも荷物が受け取れる「OKKIPA」は、オートロックマンション向けに荷物の配送伝票番号を照合することで、配送員やその他の訪問型サービスがよりセキュリティが高い状態でエントランスを解錠できるシステムを開発しています。本取組みでは、スマートホームサービスのお客様である集合住宅オーナー様へのソリューションメニューのひとつとして「OKKIPA」を提案することで、「OKIPPA」の普及を促進し、不在再配達問題とオーナー様の課題の解決に取り組んでまいります。特定エリアでの実証実験を実施し、結果を踏まえて今後のサービス化を検討してまいります。また、OKIPPA アプリとのデータ連携による入居されるお客様への迅速なサービス提案の可能性やスマートホームのスマートロックやIPカメラとの連携による新しい宅配のあり方も継続して検証してまいります。

3. ClipLine 株式会社

- ・所在地:東京都港区芝4-13-3 PMO 田町東5階
- ・代表者名:高橋 勇人
- ・設立年月:2013年7月
- ・サービス名:ClipLine(クリップライン)
- ・会社 URL:<https://corp.clipline.com/>
- ・共創企業:東急建設株式会社

○事業共創内容

ClipLine はサービス産業の生産性を双方向動画で改善するクラウド OJT サービスで、6千店舗、12万人以上に利用されています。OJT を1対多人数へ拡張し、指導内容の均質化、指導者の拘束時間削減を実現します。野中郁次郎氏が提唱した「SECI モデル」を基本概念とし、現場の暗黙知を形式知として全店舗に水平展開する仕組みは特許を取得しています。財務効果としては、顧客満足度向上を反映した売上向上や、離職率を3分の1に削減、新人教育時間を4分の1に短縮などの実績があります。

建設業界では、就業者の減少や高齢化を背景に、技術伝承や生産性向上への取り組みが重要となっています。本取組みでは、建設現場における教育の効率化・均質化のため、2019年春の新入社員研修において、実際の現場映像を活用した教育を試行します。また、現場・本部のコミュニケーション効率化・円滑化のため、伝達手段を双方向動画に置き換えたオペレーションモデルを構築します。その結果を踏まえ、東急建設での本格導入や東急グループ全体における活用の検討のみならず、建設業界全体に展開可能なビジネスモデルの構築も視野に入れて取り組んでいきます。

4. 株式会社超十代

- ・所在地:東京都渋谷区恵比寿西1-18-41 アームズワン7階
- ・代表者名:平藤真治
- ・設立年月:2016年6月
- ・サービス名:超十代 TEENS CULTURE TECH SERVICE (ティーンズカルチャーテックサービス)
- ・会社 URL:<https://chojudai.com/>
- ・共創企業:株式会社 SHIBUYA109エンタテイメント

○事業共創内容

ティーンズカルチャーテックサービスを展開する超十代は、十代の「やってみたい・見てみたい・触れてみたい」を実現させる体験型の「超十代フェス」や十代なら誰でも参加可能で、人気インフルエンサーの”部長”と一緒に夢を実現させる「超十代ブカツ」、十代のマストファッション、ビューティー、ライフスタイルなど発信する「超十代メディア」などを通じて新たなティーンズカルチャートレンドを創出し続けています。

本取り組みでは、SHIBUYA109エンタテインメントのビジョンである「Making You SHINE！」に共感し、「世界中の若者に新しいムーブメントやカルチャーを発信し、夢や願いを叶える」、ために世界を代表するランドマーク「SHIBUYA109」で、日本や中国をはじめ、世界中に様々なソーシャルメディアを活用したライブ放送によるライブコマース番組やエンタメ情報番組などを通じて、世界中に「人・モノ・コト」の発信による共感と感動や新しい世代の活躍する場づくりに取り組んでいきます。

5. 株式会社 STANDING OVATION

- ・所在地: 東京都渋谷区神南1-9-10 番匠ビル4階
- ・代表者名: 荻田 芳宏
- ・設立年月: 2014年1月
- ・サービス名: XZ(クローゼット)
- ・会社 URL: <http://www.s-ovation.jp/>
- ・共創企業: 株式会社東急百貨店

○事業共創内容

AIが手持ち服のコーディネートを自動提案してくれるオンライン・クローゼットのアプリ「XZ(クローゼット)」を展開する STANDING OVATION は、世界中のクローゼットをデジタル化・見える化してスマートフォンで持ち歩くライフスタイル創りを目指しています。本取り組みでは、2019年秋頃に、東急百貨店が運営する「渋谷ヒカリエ ShinQs」の一部アパレル売場において、「XZ(クローゼット)」に登録された手持ち服と各売場商品をミックスさせたコーディネート体験のテストマーケティングを行う予定です。それによる接客上でのアプローチやコミュニケーションの変化、ニーズやオペレーション面での検証などを行った上で、今後のサービス展開を模索していきます。将来的には、売場やブランドを横断させ、アプリ「XZ」とリアルな売場の融合によるシームレスな顧客体験の創出を目指します。

6. 株式会社リビングスタイル

- ・所在地: 東京都新宿区山吹町333
- ・代表者名: 井上 俊宏
- ・設立年月: 2007年10月
- ・サービス名: RoomCo(ルームコ)
- ・会社 URL: <https://www.livingstyle.co.jp/>
- ・共創企業: 株式会社東急百貨店

○事業共創内容

インテリア業界のプラットフォームであるリビングスタイルは、数十の有名ブランドの商品を取扱うマーケットプレイスサイト「RoomCo(ルームコ)」を展開しています。EC比率が高まるインテリア商材において、購入頻度の低さや、コーディネートの難しさから、購入へのハードルが高いことが業界特有の課題となっています。「RoomCo」では、オンライン上で、自宅の間取りに合わせて、ブランドミックスでのインテリアコーディネート提案したり、スマホを使って自宅に手軽に家具の設置イメージを再現するサービスを提供するなど、利用者がインテリアに触れる機会を増やすことで、安心して納得感の高いインテリア購入体験を可能としてきました。

今回の取組では、オンラインでコーディネート提案を受けた消費者が、東急百貨店吉祥寺店の特設会場にて、インテリアコーディネーターと共に商品を確認し購入する「オムニチャネルストア」のテストマーケティングを実施します(本年秋ごろを予定)。

今後、オンラインで商品提案を受けた消費者が、東急百貨店を始め、東急線沿線のインテリアショップで消費行動を起こすことで、インテリアの発信拠点として東急線沿線の更なる魅力度向上を目指します。

7. 株式会社ブルームスキーム

- ・所在地: 東京都渋谷区桜丘町31-14 岡三桜丘ビル SLACK SHIBUYA 1001
- ・代表者名: 中里 裕史
- ・設立年月: 2016年3月
- ・サービス名: Kimakuri
- ・会社 URL: <https://www.bloomscheme.com/>
- ・共創企業: 株式会社 SHIBUYA109エンタテイメント

○事業共創内容

「ファッションをもっと簡単に」をコンセプトに、スマートフォンで自分にそっくりの3D アバターを用いて、服を1着1秒で試着し、購入できるアプリ「Kimakuri」を展開するブルームスキームは、美しさを追求する全ての人々をテクノロジーでサポートするというビジョンの実現に向けてアプリ開発を行ってきました。

本取り組みでは、2019年3月7日に体験版をリリースした本アプリを活用して、SHIBUYA109エンタテイメントが運営する「SHIBUYA109」内の“未だ”世に出ていない個人・ブランドを“今”発信していく新しいショッパ「IMADA MARKET」において、取扱ブランドの一部アパレル商品を3D アバターで事前に試着をした上で実店舗にてスムーズに購入ができる顧客体験のテストマーケティングを2019年夏頃より行う予定です。「Making You SHINE!」をビジョンに掲げる SHIBUYA109エンタテイメントとのテストマーケティングにより、特定ブランドへの帰属意識が薄れ、購買ニーズが多様化している10代や20代の若者ならではの新たな購買体験のニーズを検証し、将来的には、オムニチャネルも含めたシームレスな服選び・購入の普及による、若者がファッションをもっと簡単に楽しめる世界の実現を両社で目指します。

「SOIL(Shibuya Open Innovation Lab)」について

当社は、日本経済・社会の新陳代謝を促すグローバルイノベーション拠点の形成を目的に、2019年7月に、社会実装にフォーカスした新たなオープンイノベーション施設「SOIL(Shibuya Open Innovation Lab)」を渋谷駅から徒歩1分の立地に開設します。

グループで200社以上の地域複合企業体が社会実装にフォーカスしたオープンイノベーション施設を開設するのは日本初の試みです。

SOILでは、社会実装に向けた各種プロジェクトのミーティングスポットとしての機能だけでなく、国内外のメディア、投資家、スタートアップ、大手企業、官公庁などのプレーヤーと共に、イベントや勉強会などを通じて最先端テクノロジーやイノベーションに関する情報の共有化と健全な競争により、日本の産業界のイノベーションを促進します。

○施設概要

- ・名称: Shibuya Open Innovation Lab(通称: SOIL(ソイル))
- ・開設時期: 2019年7月(予定)
- ・面積: 364.83㎡(110.36坪)
- ・立地: 東京都渋谷区渋谷1丁目13番9号 渋谷たくぎんビル7階 (渋谷駅から徒歩1分)
- ・用途: イベント、ミーティングなど
- ・SOILプレサイト URL: <https://shibuya-soil.com/>



【別紙】

「東急アクセラレートプログラム」について

■概要

2015年度から、スタートアップ企業との事業共創を図る「東急アクセラレートプログラム」を実施しています。本プログラムを通じて、渋谷を東急線沿線の生活利便性を高める新たな価値創出の場にするだけでなく、スタートアップ企業の持続的成長を実現するグローバルなイノベーション拠点にすることを目指しています。

「交通」「物流・倉庫」「不動産」「建設」「百貨店・スーパー・ショッピングセンター」「広告・プロモーション」「デジタルマーケティング」「カード・ポイント・ペイメント」「スマートホーム・スマートライフ」「ツーリズム」「ホテル・ホステル」「エンターテインメント」「スポーツ」「ヘルスケア」「教育・カルチャー」の15の事業領域を中心に、東急線沿線の生活利便性を高めるBtoC、BtoBtoCのサービスやプロダクトを募集。審査を通過した企業は、東急線沿線に集積する東急グループの広告媒体や施設、顧客基盤、営業網、株式会社東急総合研究所の各種調査データなどを利用したテストマーケティングを行えるほか、当社との業務提携なども検討します。

■2018年度スケジュール

2018年5月7日にサービス・プロダクトの公募を開始しました。以降は、通年受付の形をとっております。該当月月末で締切り、翌月に一次選考（書類）、翌々月に二次選考（プレゼンテーション）を行い、事業共創のブラッシュアップを重ねてまいりました。Demo Day後は、テストマーケティングなどを行う予定です。

■東急アクセラレートプログラム参画企業一覧(全17社※・五十音順)

- ・ イッツ・コミュニケーションズ株式会社
- ・ Connected Design株式会社
- ・ 株式会社SHIBUYA109エンタテイメント
- ・ 東京急行電鉄株式会社
- ・ 株式会社東急エージェンシー
- ・ 東急カード株式会社
- ・ 東急建設株式会社
- ・ 株式会社東急シェアリング
- ・ 株式会社東急ストア
- ・ 東急スポーツシステム株式会社
- ・ 株式会社東急総合研究所
- ・ 株式会社東急百貨店
- ・ 東急不動産ホールディングス株式会社(2019年度から参加)
- ・ 株式会社東急ホテルズ
- ・ 東急メディアコミュニケーションズ株式会社
- ・ 株式会社東急モールズデベロップメント
- ・ 株式会社東急レクリエーション

※19年度から参加の東急不動産ホールディングス株式会社を含む